科目名	サッカートレーニング 3						年度	2025	
英語科目名	Soccer training 3						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実技
担当教員	永山、樋口(マリノス)、八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種 部にてサ		ーム、大学サッカー ッカーコーチとして		

【科目の目的】

日々のトレーニングによるサッカースキルの獲得、それが実際の試合で発揮できるようになります。また、攻守においての戦術の理 解度を上げていき、それに伴うチーム力や人間性、肉体的な向上も副次的に獲得できるようになります。

【科目の概要】

社会人リーグに勝つために必要とされる技術・戦術を、M-T-M方式を用いてトレーニングします。

【到達目標】

- A. カウターの攻撃、守備の習得ができ複数で発揮することができる B. コナーキック・フリーキックの攻撃、守備の習得ができ複数で発揮することができる C. 中央攻撃ワンター、3人目の崩しの習得ができ複数で発揮することができる D. ロングボールの攻撃、守備の習得ができ複数で発揮することができる E. アーリークロスの攻撃、守備の習得ができ複数で発揮することができる

【授業の注意点】

遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡します。安全性の確保をします。(学生自身の十分な体調管理、トレーニング環境 の確認と設定)夏季は熱中症対策を強めます。(各自水分補給を行うこと、回数の確保)授業時間数の4分の3以上出席しない者は評 価対象外となり単位認定を認めません。

		評価基準=	ルーブリック		
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力
到達目標 A	カウンターの攻撃、守備の習 得ができ複数で発揮す ることができる		カウンターの攻撃、守備の習 得ができる		カウンターの攻撃、守備のマ 得が全くできない
到達目標 B	コーナーキック・フリーキックの攻撃、守備の習得ができ 複数で発揮することが できる		コーナーキック・フリーキックの攻撃、守備の習得ができる		ューナーキック・フリーキックの攻撃、守備の習得が全く できない
到達目標 C	中央攻撃ワンツー、3人目の 崩しの習得ができ複数 で発揮することができ る		中央攻撃ワンツー、3人目の 崩しの習得ができる		中央攻撃ワンワー、3人目0 崩しの習得が全くできない
到達目標 D	ロングボールの攻撃、 守備の習得ができ複数 で発揮することができ る		ロングボールの攻撃、 守備の習得ができる		ロングボールの攻撃、 守備の習得が全くでき ない
到達目標 E	アーリークロスの攻撃、守備の 習得ができ複数で発揮 することができる		アーリークロスの攻撃、守備の 習得ができる		7-リークロスの攻撃、守備々 習得が全くできない

【教科書】

日本サッカー協会公認指導教本など

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

日々の振り返りノート記述、実技レベルの向上度、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		サッカートレーニング 3					2025	
英語表記		Soccer training 3					前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	己評	
1	カウンターの攻撃	1 寸畑 → 攻撃の感及 るようになる カウンターの攻撃を理解し個人で複数で理解と発揮 2 パスorドリブルの区別 カウンターを打つ術とことができる 2 数的原位での問わり できるだけ多く		カウンターを打つ術としてのパスorドリブルの区別が理解、 ことができる できるだけ多くの人数をかけるためスブリントを行い労	てのパスorドリブルの区別が理解、発揮する			
2	カウンターの守備	カウンターの守備を理解し個人で複数で理解と発揮ができる	1 カウンターの予測とリスク管理 2 スペースを消す 3 ゴールキーパーとの連携	ことが理解できる 攻撃を行いながら切替わりの予測とリスク管理が理! 自陣ゴール前までの距離を把握しスペースを消すこし行える ゴールキーパーと連携しゴールを守りながらシュースを消すことが行える	とを理解	-		
3	数的不利のカウンターの守備	数的不利の守備を理解 し個人で複数で理解と 発揮ができる	1 ゴールキーパーとの連携2 コース消しと追いやり3 得点を許さない	ゴールキーパーと連携できるまでのスペース消しを える 数的優位なパスコースを消しながらポール保持者を外 る感覚が掴める ゴールキーパーと最後まで粘り強く最後までゴール 備が行える	へ追いや	-		
4	コーナーキック攻撃の戦術	コーナーキック攻撃を理解し個 人で複数で理解と発揮 ができる	1 ルールとメリットの理解 2 キッカーのキック、味方の分散 3 チーム内戦術の構築	コーナーキックにおけるルールやメリットが個人、 解できる キッカーのキックの種類や軌道の使い分け、シュートを狙う味力 理解できる 数種のパターンを構築し実践にて理解と発揮ができ	の分散が	-		
5	コーナーキック守備の戦術	コーナーキック守備を理解し個 人で複数で理解と発揮 ができる	1 ゴールキーパーとの連携 2 コミュニケーション 3 ボールの行方にて眼を切 らさない	ゴールキーパーとフィールドプレーヤーの守備範囲 理解できる 音量高い声や、責任感あるマーキングやコンタクト とができる ボール状況を最後まで複数で観察し、次なる行動へ ることが行える	を行うこ			
6	中央攻撃ワンツー からの崩し	中央攻撃ワンワーを理解し 個人で複数で理解と発 揮ができる	1 [*] * * * * * * * * * * * * * * * * * *	おがず、かとオフザボールのなった瞬間の役割の変化を理とができる 行く間合作り、引き付ける間合い作りを理解し行う きる 最終的にゴールキーパーに阻止されないツーのパス シュートが行える	ことがで から崩し	-		
7	中央攻撃3人目か らの崩し	中央攻撃3人目からの 崩しを理解し個人で複 数で理解と発揮ができ る	1 3人以上のポジショニング 2 シンクロナイゼーション 3 崩す	ゴールへ向かっていくフリーランニングのタイミン 理解できる 関係性が持てる視野の確保、ノッキングしないテク 発揮することができる 最終的にゴールキーパーに阻止されないパスやコントロ- しシュートが行える	ニックを -ルから崩	-		
8	フリーキック攻撃 の戦術	フリーキック攻撃を理解 し個人で複数で理解と 発揮ができる	1 フリーキック攻撃地点と おおよその考え方 2 味方との実践 3 味方との実践(相手有 り)	ゴールに対してのワイド・センターボジションなど、距離のま 方を理解できる 相手がいない状況でのイメージ共有をチームメイト 行える 相手がいる状況でのイメージ共有をチームメイトと える	と理解し	2		
9	フリーキック守備 の戦術	フリーキック守備を理解 し個人で複数で理解と 発揮ができる	1 フリーキック守備地点と おおよその考え方 2 味方との実践 3 味方との実践(相手有り)	自陣ゴールに対してのワイド・センターボジションなど、距削守り方を理解できる 相手がいるが把握可能な状況設定でイメージ共有を イトと理解し行える 相手がいる状況でのイメージ共有をチームメイトと える	チームメ	-		
10	ロングボールでの 攻撃	ロングボールでの攻撃 を理解し個人で複数で 理解と発揮ができる	1 優先順位と状況選択 2 状況選択と技術発揮 3 プレー地点の素早い移動	相手ゴールに最も近い選手から選択できるわ、わの理解できる オンとオフの選手、シンクロナイゼーションと技術 させ行える 距離が動く分だけのラインアップやセカンドボール 識や行動が取れる	力を一致	-		
11	ロングボールに対 する守備	ロングボールに対する 守備を理解し個人で複 数で理解と発揮ができ る	1 ボールフリーの見極め2 空中戦とカバーリング3 プレー地点の素早い移動	相手がボールフリー、フリーランニングを予測し蹴に下がることが実行できる 個人でのヘディングカ、クリアカ、周囲選手のカバが行える 距離が動く分だけの1・2列目選手が下がりセカンド 拾う意識や行動が取れる	ーリング			
12	アーリークロスか らの攻撃	アーリーケロスからの攻撃を理 解し個人で複数で理解 と発揮ができる	1 相手チームゴール前20m地点 の把握 2 クロスポールとシューターとの同意 3 シュートの質	相手守備ラインとゴールキーバーとの間にできる距離感を掴できる 1での掴みや理解が共有できた際、迷いのないクロスボーがシューターへ行える クロスの質が基本速く、角度も広角なのでシュート) 高め実行できる	-ルの提供	-		
13	アーリークロスか らの守備	アーリークロスからの守備を理解し個人で複数で理解 と発揮ができる	1 相手チームボール地点のとス ペース把握 2 下がりながらの阻止 3 ゴールキーパーとの連携 など	クロスが入る予測のもとゴール方向へ適切なステップワー ることができる ゴール方向へ下がりながら相手よりもボールを先に ができる ゴールキーパーと連携しバッティングしない、また を入れさせないことが行える	触ることはクロス	-		
14	紅白戦ストップ ゲーム	11対11での実践をス トップゲームを交え行 う	1 カウンター攻守状況設定ケ゚ーム 2 FK、CKゲーム 3 ロンク゚ボ゚ール、アーリークロスケ゚ーム	状况設定を変化させストップゲームで復習、理解をことができる 状況設定を変化させストップゲームで復習、理解をことができる 状況設定を変化させストップゲームで復習、理解をことができる 対況設定を変化させストップゲームで復習、理解をことができる	深め行う	-		
15	前期の復習	前期学んだことを振返 る	1 振返りと実践 2 振返りと実践理解 3 後期へ向けて	前期に学んだ内容を総合的を行い振返り実践するこ る 前期に学んだ内容を質問などを行い振返り実践する きる 後期への課題を明確にし実践することができる		-		

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった